

第19回 学術大会（大阪大会）

日時：2022年6月25日(土)

会場：国立民族学博物館（大阪府吹田市）ならびに Zoom によるオンライン

- ◆ 完全オンラインになる場合もあります。
- ◆ 懇親会および巡検はありません。
- ◆ 総会はオンラインもしくは書面により実施します。

プログラム

9:30-12:30：一般発表

13:30-17:00：シンポジウム

テーマ『ダチョウの文化誌』

内容：エピオルニス（象鳥）、ダチョウ、エミュー、モア、キウイ、ヒクイドリ、レアほか、大型で飛べない鳥は走鳥類と呼ばれる。このなかで地球上最大の鳥エピオルニスやモアはすでに絶滅をしているが、本シンポジウムでは、近年において食肉や感染症の抗体としても注目されるダチョウの利用に焦点を当てる。ダチョウと人とのかかわりを多方面から紹介することをとおして人類とダチョウとの関係のあり方を展望する。

開会挨拶 緒方喜雄（大会実行委員長）

趣旨説明 米澤隆弘（東京農業大学）

講演Ⅰ 「走鳥類の自然史」 長谷川政美（統計数理研究所・名誉教授）

講演Ⅱ 「旧石器時代のダチョウの卵殻利用—アフリカからアジアへ」 高倉純（北海道大学）

講演Ⅲ 「ダチョウと人とのかかわり—肉・卵・殻・羽根」 池谷和信（国立民族学博物館）

講演Ⅳ 「北海道でダチョウを飼う」 氏家健太（第二有島だちょう牧場）

総合討論 *講演タイトルはすべて仮題

接続テスト 6月13日（月）17:00-18:00を予定（オンラインに不安な方は参加下さい）。

参加費（オンラインも会場も同額です。参加費の振込先は追ってお知らせします。）

学術大会： 会員・非会員 2,000円（20歳未満 1,000円）

参加申し込み

下記の Google Form にアクセスするか、郵送よりお申し込み下さい。

<https://forms.gle/NhwAWr9hSvBCwper7>

参加申し込み期限

・一般発表者・会場での参加希望者 : **2022年5月30日（月）必着**

（会場定員30名・定員になり次第締め切ります。）

・オンラインでの参加希望者(発表なし) : **2022年6月10日（金）必着**

一般発表をする方へ

学会HPにある発表要旨書式に沿って要旨1200字程度（横書き）を記入し、下記のメールアドレスにWordファイルで提出ください。

問い合わせ

生き物文化誌学会 第19回学術大会(大阪大会) 実行委員会

〒565-8511 吹田市千里万博公園10-1 国立民族学博物館 池谷研究室

TEL: 06-7653-7277（おもに月・金） Fax: 06-6878-7503 e-mail: bio@minpaku.ac.jp

